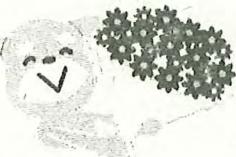


# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病についてよく知る二ヶ国できました。最初は聞いたことがあります。病気だよと思つてしまつたが、その病気のせいで何人も亡くなつてしまつていた。どうしてだけつらい病気なのか、どうのうに生きなければならぬのかよく知る二ヶ国できました。ハンセン病による差別や、それ以外のコロナウイルスなどによる病気による差別は、和むちがでる限り無くしていきたいくれました。

ハンセン病による差別は、今もなくてはいけないことを学んでいたので、今後どうしてうちのうな差別や、ハンセン病以外の病気の差別などを防ぐことができるのかを考えながら行動・生活していくので、もしも周りに病気

の人があるても、その人の気持ちもし、から考えて行動していくのです。



# ハンセン病講演会を終えて

○このハンセン病の講演会で、2つのことにおどろいた。

まず、国がハンセン病の患者さんにに対して、いいあつがいをしていて。  
それが当たり前にみえたことにおどろいた。

者はハンセン病は人にうつる病気だと分かっていたから、かくらすよというは。

今はやっかいなコロナと似ては思つてないけど、根柢もしく子供にもう17  
つかひあるから子作り禁止というのはとてもひどいことだと思う。

次に患者さんが療養所に残りつづけるということにおどろいた。

自分は想像しかけてないけど、自分が患者になれば、EJ、

もうハンセン病のことなど思はずしてしまっておもう  
とおもうから療養所に残るという考え方にはうまれない  
かもう。

この講演会をおいて僕の大切なことを改めてかんじたので。

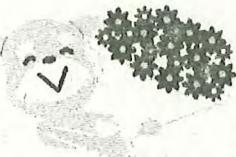
自分は加害者になるのではなく、そのためにはなりたくないふも、た

# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病については名前は知っていたけれど、どのような病気が、患者への差別で、そこにはあまり知らないところではとても危険になってしまった。特に療養所での患者への扱いがとても印象に残っています。療養所においても外出を禁止されたり、結婚はしても近くで住むのは禁物になってしまい、たゞ道のりはながく、たものだったことがとても驚きです。このようなことで多くの人の人生を壊したり、生まれてくるはずだった人の命もうばは、たゞ1つ1つを考えると本当に辛いですね。また思いました。昔の日本政府がつくってしまった偏見や差別を正しく認識してもらおうとして、これまで大切にしてきたと改めて学ぶことができました。このような間違ちがうが二度と繰り返されないことを心から願います。

# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病についてはあまり知りつかなかったので、流行っていた時の政策や患者自身の生活なども知らないところがでてきて良かった。今ハンセン病患者やその家族への差別が広まってしまったのは国がハンセン病についての情報やとても大変なものだとかじりようくに選んでいたのも原因であるが、それを聞いた市民の人々も役に立たないなどマイナスを持っています。たことだと思つた。私がなすことなくするために正しい知識に基づいた行動を意識したいと思つた。この考え方はコロナが流行っている今更に意識すべきだと思う。差別や人権侵害が、人々の将来など様々なものよりは、でしょうか?とにかくには自分で差別をしないようにしたいし、これに相応しい行動をしていきたい。



# ハンセン病講演会を終えて

本日は、ハンセン病講演会を行って下さい。ありがとうございました。11月9日。

この講演会を通して何を重要なことを学びましたか? もう一つ。やつは、

人権の問題もあり、自由が失われ子供がおもてなされたりと思いつつも、

ハンセン病についてもなぜ知りませんか? 相のみ話を聞き知ること

ができるかもしれません。この問題は世界共通の問題ですが、今SDGsにもつな

がるにはこれが分かります。右も胸が痛み辛しみで、差別や強制隔離

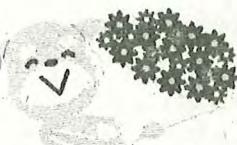
をやられていた本人、又その家族の言葉ではれせりふなど悲痛の思

いでしたと聞えます。また、人権の問題については学校などのいい所はたくさんあります

から思ひます。このうちのいい所はもう一つあります。それは、差別や

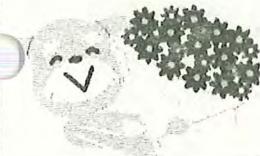
偏見などの絶対にしないように改めて感謝します。明日

は本当にありがとうございました。



# ハンセン病講演会を終えて

今まで、「ハンセン病」という名前は聞いたことはあってけど、その詳細やどんな歴史があるかうなづかれてきていたのは全く知らなかつたのでとても勉強になりました。病気にかかるた方は家族との繋がりを切ることや、真理子さんのお話、病院内にお墓があるなど「ハンセン病問題」の重大さ、残念さを知るにとかけてきて良かつたなと感じます。人は想像がつかないこと、興味がないこと、知らないことは簡単に残念になってしまふからこそ、今日ハンセン病について色々勉強できて良かったです。今、新型コロナウイルスが流行り、いますが、コロナに対する偏見や差別を感じる人が多いのも「ハンセン病についても、といふところは人に知つてもうべきた」と思ひました。2度と誤ちをくり返さないように、「差別はしてはいけない」という言葉を受けて生活していくと思います。



# ハンセン病講演会を終えて

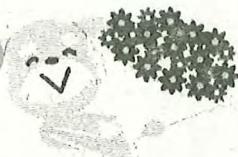
今回の講演会を聞いて、今までハンセン病なんて見たことも聞いたことも無かつて「オガ・ハンセン病」知識、それにキラアケ事件について知ることが出来ました。ハンセン病患者の人々、また療養所の実能アビを聞いて、差別ではなくとうに良くなく、人の人生と大無間にすこしもあざといことをあらためて実感しました。あきらめることなく、人権を求めてきたハンセン病患者の人々はとてもオジイと思ひました。新型コロナウイルスが流行している今、私たちもコロナウイルス感染者の人たちと差別するのではなく、今まで通りに接するとして、過去に起きた事件をくりかえさないようにするのではいるのかと思ひました。



# ハンセン病講演会を終えて

今日は、ハンセン病講演会を開いてくださり、ありがとうございました。

私は、ハンセン病というのについてよく知らなかったので、ハンセン病について、知れてよかったです。人権や差別がどれほど、その人の人生に影響を及ぼせるか、その人の可能性をなくしてしまうか、よくわかりました。現在、新型コロナウイルスが流行っていますが、ハンセン病が流行した時のように差別をくり返すことのない世の中になればいいなと思いました。たとえ「も」持っている「人権」を意識つつ、自分も、日頃、人を傷つけない方が、よく考えて行動しないと思いました。ハンセン病で苦しみ悲しい思いをした人のようだ、そのような思いになる人がいなくなるといいなと思います。



# ハンセン病講演会を終えて

私は今まで、「ハンセン病」という名前は知っていたものの、その実体はほとんど知りませんでした。今回の講演から、ハンセン病という病気そのものと、それに対する、国の対応について学びました。まちが、丁寧な対策により、長い間差別され、家族とも、共に暮らせなくなっています。丁寧な達の話を聞いて、とてもつらく感じます。今、世界中で流行しているコロナウイルスに対して、私も、黒髪中学校の例のように、第三者目線での考え方、自分が実際にその場に立っているのとではちがうことに気づかされました。これから、新型コロナウイルスに対して、どのように向きあっていくのか、今回の講演をいかして、改めて考え方を引きたいと思ひます。



# ハンセン病講演会を終えて

たった一つの病いや、家族との縁を切れ、自分の子どもを育て、

周りからの差別を受けるの付、と云つたりなどなし、そして日本でこんなことがあります

あたことに衝撃を受けました。半世紀やけで差別は消えかけこの世の中を  
今後は、やれんちやん、おーと長い時間をかけて、差別をなくす、

日本で起こつていた、一つの差別、半世紀以上も続いていた恥を、

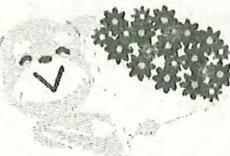
さらに多くの人に伝えていこうと思ひます。

折、今回の講演を受けて、今まで知らなかった、ハンセン病、そして

ハンセン病を通じての差別、のことをよく考えさせてくれてありがとうございました。

今後の生活の中で、差別をせず、どんどん周りの人へ伝えて

いこう思います。

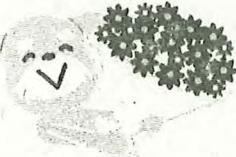


# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病にかかってしまったというだけで嫌せい的にかくりされてしまったり、

心ない言葉をあびせられてしまったりしたと考えただけで胸を痛めてしまい、  
ました。特にかくり所で結婚し、妊娠したのに中絶させられてしまう、しかも、  
中絶手術の手伝いに父親も参加しなければいけなかつたという状況が  
更に、苦しくさせてしまったのだと思います。少しの間だけでも生きられたのも  
不幸中の幸いだと思ひますが、当時、差別がなければ娘のまりこさんは  
元気に過ごしていたと考えると当時そのようなことをしてしまった人達に対して  
怒りを覚えます。現在では裁判で勝利し、薬もできましたが、差別を受けた

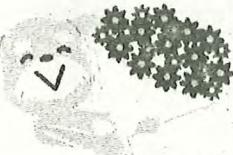
ハンセン病の患者さん、その家族の苦しみは一生消えないと思ひます。私達もハンセン病に限らず、他の事に関しても差別は  
絶対にしてはいけないと改めて実感しました。



# ハンセン病講演会を終えて

現在は「ハンセン病」という病気は馴染みがないけど、ハンセン病が流行し始めた明治時代のときは、恐ろしい病気や危ないとして差別されていたことを知って、とてもひどく、冷酷だと思いました。療養所などでの扱いは本当に病の人々が療養する所なのかと思うほど、ひどいものでした。かかった本人だけでなく、家族や周りの人々まで差別するのは、今の新型コロナウィルスの世にも当てはまっていると感じました。講演の話で出てきた「黒髪小学校事件」はかかっていなくても、国がつくって、生みだしてしまったへん見にすて、子どもでも辛い思いをされなければならなかつたと思いました。療養所に入っていた桜井さんの話は、とても残酷だと思いました。せっかく生れてきた娘さんも、ハンセン病の世の中では中絶で、生れても助からず、生まれることも許されないというへん見はさすゞ手写形で人々を苦しめたり、未来の可能性をなくされたりしていく、残酷だ

と思いました。



# ハンセン病講演会を終えて

今日はハンセン病についてお話ししていただき、ありがとうございました。私は、ハンセン病のことはよく知りませんでしてが、今日のハンセン病講演会を通して、ハンセン病による差別や偏見がどれだけ深刻で、多くの人々の人生の可能性をうねってしまったことなど、多くのことを学べました。今日の中でも一番しうげき的だったことは、その収容所で亡くなられた方は収容所の方墓にまいさるところで、死後もこういった差別が続くのかと思うと、とても悲しい気持ちになりました。現代でも、コロナウィルスによる差別など心配されてることが多くありますから、差別が国という大規模で行われないように、一人一人が正しい情報を受け取ってハンセン病の人達のような、悲しいことが起きない社会の大切さがよく知れました。

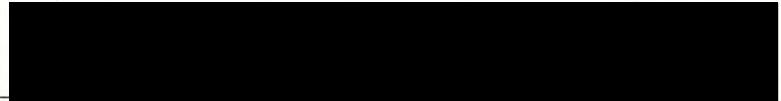


# ハンセン病講演会を終えて

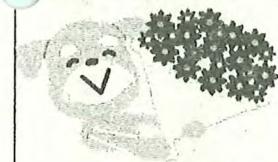
ハンセン病にて家族から自分の人生と離れてしまうこと、とても人が痛みました。現代社会に重ねてみるとコロウイルスの感染拡大にて感染された方への心ない対応、言動が見られることが同じように自分がやらないたくないわけではありません。も関わらず差別へ見受けられることは非常にやない事であり、人の心を深く傷つけ、肉体的にも傷つける決してではないと思います。過去に現代が多くの方がかかっている深い傷で今まで以上増やさないよう自分自身注意するとともに周りの人々にも差別やへ見方などによる心へのダメージを伝えて平等である社会づくりに貢献していくべきだと思いました。そして、このような機会を設けてくださった学校の先生方、講師の方々に感謝申し上げます。



# ハンセン病講演会を終えて

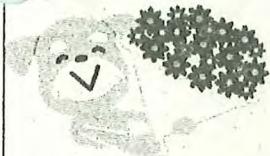


ハンセン病の問題は、テレビなどで、見たことがあります。  
またが、ハンセン病の歴史は、すごく長いなと思いました。  
かくらさるだけではなく、労働力や、親もうけたりと、非人  
道的なことがおこなわれていたことなど、今若狭たる、  
ありえないことがされていたことがわかつて、おどろきました。  
ハンセン病の差別や、偏見などの問題点と、そのほか  
の差別にかかる問題点を、しっかり日本は、いかに  
つれていくべきか、自分たちが、かけられた不平等をつく  
ていかなくてはならないと思いました。



# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病について、初めて深く知ることができました。今流行っているコロナウイルスにとても似ています。感じ、ハンセン病によって多くの人が物理的にも精神的にも苦しめられています。特に中絶されて死んでしまった真理子さんの話は自分もたくさん聞いて悲しく思いました。二度とこのような事はないではなうないと思いました。やはり、コロナや今日学んだハンセン病の両方に共通して言えるのは、正しく病気について理解し、差別なくせず、正しく接していくことがこれからも大事になっていくのだと思います。今回の講演はとても勉強になりました。ありがとうございます。



# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病という1つの病気になってしまったけど、家族や本人に人権についての差別がある、それはとてもかく大変な事だと感じました。このような問題は、SDGsなどにもかかわってます。他人に対しては早く自分から行動を起こし、問題を解決していくにはと思いました。現在の日本では、ハンセン病の人は少ないので、世界中には、今までハンセン病に苦しめ、差別や人権について苦しんでいた人がたくさんいることを知りました。このような問題は、自分たてだけではなく無理だと思うので、世界の人々や、国々が注意しているかわりにしなりと想いました。現在ではあります、事が、昔はあたりまえのようにおこった事が知れました。



# ハンセン病講演会を終えて

まず最初に、講演会ありがとうございました。

初めて「ハンセン病」というものを聞き、最初はどういったものか分からずせんびしたが、講演会を聞いてとても深くなものだと知ることができました。

どんな問題にも「自分ごと」という考え方の大切さとは

分かりていますが、それよりも、自分が関わったときにどう行動するのかが大切にならなくてはいけない

実際の経験者の方の話を聞いて、とても悲しくなりました。

この「ハンセン病」と「人権」や「差別」については  
忘れてはいけないことだ"と思ひました。



# ハンセン病講演会を終えて

今日の講演会を通してハンセン病に対する考え方には何が問題かに気が付いた。

病院に入院されて死んでしまう事とそこにはいけない事ではどちらかという

ことはないが、死んでしまう事と病気にかかる事のどちらかがどちらか

多くは常健な人に対してそれがオーバーアクションとしていることがよく分かりました。あと、やつぱりハンセン病にかかる事は差別や偏見といった

ことはあってはならないと思いました。現在新型コロナウイルスという人が増えましたが

はやくいいきに感ぜん者に対する差別や偏見は昔からずっと続いているんだ

少しでも差別や偏見をなくす事が出来ればいいと思いました。

ハンセン病に対する偏見やコロナに対する偏見などを

自分でも言わなければいけない、周りの人たちが偏見などをしているとした時に

云われ違うと思う!と言ふ方がいいです!

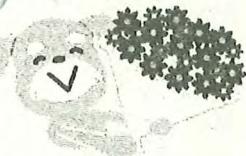


# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病については知っていたのですが、詳く當時の情況や状態まで知らず、社会とのつながりについても知りませんでした。この講演を聴いて、学んだことは、当時の苦い生活状況・ハンセン病感染者の人権侵害など、そのころの考え方、時代背景などを学ぶことができました。講演のときに添付された資料を見ながらより詳しく知道了ことからで、感染症に対する正しい知識を知道了ことができました。現在流行中の新型コロナウイルスにおいても第1波のときは、はじめや迫害、差別など似たようなこともありました。先生がおっしゃっていた「同じことばかり反覆する」ということから、今おこなっているので、今後また同じような感染症がみられた際には、この講演で学んだ正しい知識をもとに、差別しないのかもう一度くり返してもらいました。自分で行動できたら良いと思います。今回は二年からの人生に生きるとしても貴重な時間をかりました。先生の恩を受けて、ついでにハンセン病に苦しむ人の苦労を少しでも減らしていくつもりと思われます。本当にありがとうございました。

# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病にかかるつた人々は、強制的  
隔離せざるよりられ、親と一緒にいられない  
状況をまのあたりでいふと知つたら、  
胸がとても痛かつた。また、差別はないせ  
いかないが、これは、人の人生の可能性を  
うばい、人生をやがてほうからというふことを  
学びました。今はコロナウイルスで差別されてる人は  
少くないが、そのので、その人を救つてあげたいといふ  
気持ちが強くなつたので今日のことを行つて必ず生かしたいです。



# ハンセン病講演会を終えて

僕はハンセン病と聞いて、「単に重い病気、などのがなって思いました。

しかし、今回の講演を聞いて、ハンセン病は人権についても開催のおも病気だと  
言つてがやがれました。僕はSDGsにとても興味があるので、感染したう一生で過去世とい  
い川木といふと聞き、感染したには「自由」がないと思いました。また、真理子さんの話もとても  
ざんこしてました。昔は薬がなかったのをかたる治せませんでしたが、今は薬で治せるので、  
ハンセン病自身を深く考るこことはできませトが、ニキガの人生、人権」というものに関して  
深く考へて生活していくことを思いました。また、コロナに感染したと差別しないように  
いたいです。今日は本当にありがとうございました。



# ハンセン病講演会を終えて

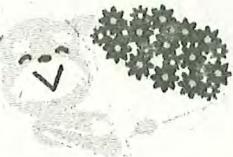
私は、ハンセン病は江戸や明治あたりのときも昔の病気だと思つてました。ですが、この講演会を終えて思つてより最近の病気であることを、今も差別が続いていることを知ることが出来ました。もし私がハンセン病にかかる、あるいは家族と離れるなどしたら、どうして生き育つることさえも禁止されてしまう...と考えるととても怖いです。真理子さんのお話や原田さんのお話を、この先、忘れずにはいるつもりです。この講演を終えて、ソレハンセン病は興味がわいたので、コトバが落ち着き、社会的なまちゅうか?ミミズク文化へ行きました。

そして、人権について、しっかりと後世にも伝えていくべきだと改めて思つた。

今後この様なことのことを繰り返えさないようにします。

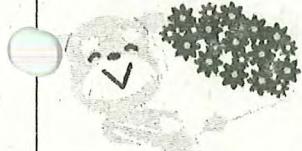
# ハンセン病講演会を終えて

今日は二度とない経験でした。今日初めてハンセン病という言葉をみて  
「なんだこの病気」と最初思つたのですが、話を聞くと、もう悲しい過去が  
あり、どうやらマリ子さんの話から始まっていた。12月ハルガンジャーが  
労働者として働く仕事をして今じゅうたくさうがつをやせん。  
そして最後に語っていた、「なぜ人権が大切なのが、なぜ差別が  
いいのか」僕はこれまで「人権はめちゃ大切!」と言われてきましたが、今日話を聞いて  
そんな大切な人だとうと理由があまりピンとこない、たのめますか。今日話を聞いて  
人権がなくて人生のかけいをうなづいた。その人の人生をやがてしようとして  
かとてもよく分かりました。今日から未知のウイルスがいる  
たがいに知識をもって二度とこの過ちをくりかえさないようにします。



# ハンセン病講演会を終えて

今日はハンセン病の講演をしていたのですが本当に  
ありがとうございました。私はハンセン病については  
ほとんど知らないかったのですが、ハンセン病について知るきっかけ  
ができたのも。私的には真理子さんのお話が  
とても心にきました。ハンセン病と新型コロナウイルスは  
同じ感染症なので人権を中心としたり差別をすると  
いうことは絶対におきはいけないことだと  
知道了りました。自分がもし差別をしている人が  
いたらすぐに止めるにかかるかと思うところ  
でした。



# ハンセン病講演会を終えて

お急がい中、講演をしていただき、ありがとうございました。

私は特に真理子さんの話が記おくに残りました。本当に、うまれて10時間で  
死くなってしまふという想はなれば本当に言葉に表はれないほどせんぐたいたと  
感じました。だけど、たった10時間だけだけど、自分の子どもと一緒にすごせたということは、  
今の状況だとできただつたのではないかと思いま。今は新型コロナウイルスの影響で  
世界中でうけていて、ハンセン病の時ほどではないけど、差別や偏見がうまれてしまっ  
て、またハンセン病の患者さんみたいなかい者が出てきてしまうかもしれない、  
きちんと正しい情報を取り入れて、偏見をなくせるようにして下さい。また、  
コロナウイルスは身上にあるから、偏見とか、差別とかを  
してしまっている人がいたらちゃんと注意できるようにして下さい。



# ハンセン病講演会を終えて

本日の講演、ありがとうございました。私は、ほとんどハンセン病のことを知らなかったのですが、とても、じょうげきの多い話ばかりでした。特に、印象に残ったのは、桜井さんのお話でした。眞理子さんが生まれて、10時間ほどしか一緒に居られなかつた桜井さんを思うと、とても心苦しいです。あの時に、もしハンセン病ということだけで差別がされていなかつたら、政府のやれハゲ、こんなことしてはいけないと気付いていたら、桜井さんの他にも、もとたくさん、幸せに生きていられたことがあつたかもしれない、と思いました。

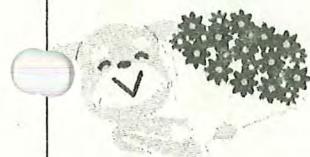


# ハンセン病講演会を終えて

私はハンセン病をタリエで入でしたか、今日の講演会を開き、午前11時刻なことがあ、たんたと気が付いた。療養所ではかくさんされたソト、草カブコスまで相当苦い思いをしてましたんだと思ひました。

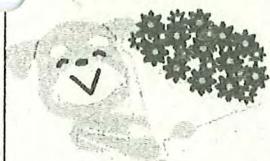
ハンセン病以外にも色々な人種問題があります。女性の差別、白人黒人のトラブルなどです。これらは昔からの風潮で今もあり続けれます。当することはできないので、自分達の考え方をえるや要素があると思います。このような講演会やSDGsにとりく

たりなど、これからは自分達をくれていかうといけなくて、実感しました。ありがとうございました。



# ハンセン病講演会を終えて

私はハンセン病のこと全く知らなかつたので、強制的のかくりや、患者さんの生活、差別についておどろきました。しかも、差別が今も続いていると聞いて怖いと思いました。同時に私たちは、未知の病気か流行してしまつたとしても、ハンセン病の"ヨニ"と同じことを繰り返さないために、正しい知識を身につけたり、それに基づいた行動をとるだけでも、差別やヘンツルをしてでもなくすことをからかうかもしないないと考えました。日本だけでなく、世界全体で、いろんな病気への想い込みが"すぐれるよう"に毎日考え方から生活しようと思いました。



# ハンセン病講演会を終えて

今日の講演でハンセン病の昔のあつかいや症状、

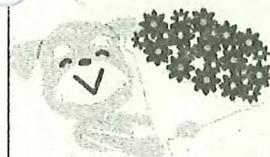
今はなおる病気であることで今も昔の差別が重大な問題であることがよく分かりました。

また、キャリア教育に関するお話しでは、

自らの仕事を通してハンセン病について正しい情報を伝えたり、それをヤリがいとして仕事をする人もいる  
ということを知ることができました。

私は差別をするような人間にはならないように、

また何かヤリがいある仕事ができるように  
していこうと思いました。



# ハンセン病講演会を終えて

今日ハンセン病講演会に参加して、多くの人々の言葉角界のせいじ  
ハンセン病の方の命と人生の可能性をうばってしまったことを知った。  
患者さんの療養所での苦しい生活を知り、人間の心のこみつけたり  
を感じた。僕が心に刺したのは本人や家族がハンセン病おじけで  
周囲の人間が正しく理解していないせいで名前を変えたり、家族と縁を  
切らなければいけなくなることや一生家族にあなくなることです。自分に置き  
かえて考えることができた。これからも、ハンセン病の講演会に参加し  
正しい知識を付けていきたい。またしっかりと自分の頭で考え自分の  
意見を持ち、正しいことを『正しい』と言えるようにしたい。  
二度このような差別が、罪を犯人の可能性をうばうことか  
ないように自分の言葉で周囲の人々に伝えたい。

ありがとうございましたのでううにきました。

## ハンセン病講演会を終えて

人権教育やハンセン病について、国立ハンセン資料館などを矢張って最悪かにあそろい伝染病として療養所に生じこめられていたという事実を知り、ハンセン病や今のコロナ(パンデミー)のようにおそれられていたとすると最後のハンセン病問題の教訓の正しい知識と共に進づいた行動やけん法にいはんする「国の人による人権侵害」という司法はんたんが確定といふハンセン病問題の教訓がなるほどなと思いました。

その他外でも小川さんや東村山市の市長さんのドキュメンタリーなども興味深かったです。

最後のうでつけたいな感じで聞かれていたQ人木雀が大切なの  
が差別はいけないのか?という問い合わせが人生の可能性  
どうばい、その人の人生をゆがめてしまったという答え出した

ときに上に記された「國による人権侵害といふ言葉が自分の心にさりました。  
このハンセン病講演会と申れてありがとうございます。」

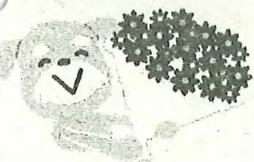
# ハンセン病講演会を終えて

昔の人のハンセン病のつらさや差別についてを学んだ。ハンセン病になってしまったことで色々な物を失ってる人が多いけどと思うとつらい気持ちになる。最後には、いいゆや差別など、絶対にしてはいけない、ということを改めて知った。ましては僕達の未来などにもつなげて話していくのとてもためになった。ハンセン病になってしまった人々のための工夫なども分かった。

世界中でもハンセン病があり、自分達がかかる事ないからいいんだよ。ではなく、こうやう人達がいていいんだよと思ふ事が出来た。改めてハンセン病という病気のことを学べて良かった。

# ハンセン病講演会を終えて

今回の講演会で、ハンセン病のことは元より知っていましたが、私の想像していた以上にハンセン病患者の方たちは世間の目や療養所にて辛く苦い思いをして、そのためだと驚かされました。特に真理子ちゃんの中絶の話で、少し違えば幸せになれただけの所は私たちでも「もしかして」、その未来を想像していくがもしれないと思ふ。考え方を改めなければいけないなと感じます。感染症が流行ってから今までとの間わりと大切にして、もし過去に感染してしまった人間としても差別はない、仲良くなっています。「差別は自分のことになります。時に姿を表すこの言葉を忘れずに誰も傷つかない社会になつてほしい良いなと思いました。



# ハンセン病講演会を終えて

治療の薬があるのに医療もせず、差別をする国民、隔離させた国の偉い人達はひどいなと思いました。こういう人がいたくなればいいのにと思いました。今日の話の中で特に中絶の話が心に残りました。父親親か子の命をうばう手伝いをしてしまったついで、とても心が重くなりました。可能性を秘めた胎児見までを殺した差別はこの世にありはならぬものだと思いました。そして、差別はなぜするのだろうとも考えました。なので、自分は絶対に差別をしない決意しました。最近だとコロナに閉居しないじめてかもあります。そういうのをいっている人がいたら全力で止めに行こうと思いました。

# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病の差別は最初の方のコロナの差別と似ていると思った。未知の病気が何なのかはまだ前だと思う。でも、だからといってその人を強制からずなどし、その後も粗末な扱いを受けて、苦しむことは本当にあってはならないと思った。人権がこんなに大切だと思いつめさせられたのは初めてでも、少し人権についても理解が深まると思う。さらに、かんせん病の家族もこれで木蓮ちゃんが苦しんでいるのに国は何も対策を取らずにほう置して、子の本当の心をうかがった。もっとこのときに金魚かこの病気についての理解を深めていれば、こんな非難には至ってなかつたと思う。なぜか  
ちゃんとこの情報を理解することは大切だと思った。

これが由調べて、いろいろな情報を集め、はんたんすることが大切だと思った。

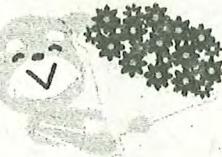


# ハンセン病講演会を終えて

「ハンセン病は聞きたい子のほう」言葉だったけれど、今日の講演を聞いてハンセン病への理解度や、一昔前のハンセン病の実態など多くのことを学ぶことができてきました。差別はないのか、あても、どうやら状況でも絶対にや、ではいけないことがあります。今、流行してますコロナでも差別など失禮するところがたくさんありますと現代への改善方法など自分がその立場になったとき、どのように対応したらいいのかなど改めてすることになりました。真理さんの話なども聞いて街の大切さ、重みを感じることになりました。とても勉強になりました。これからに生かしていきます。

# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病は、病気につかうだけでなく、療養所に入り、地元のよくな人生をおくついたことを今日初めて知りました。元々ハンセン病もよく分からず、軽い気持ちで講演会をうけたが、思った以上とてもつらいことにと改めました。今、コロナウイルスが流行っていて、いじいろなことが制限されてしまうが、ハンセン病のように療養所に入り苦しい人生をおくつる生活じゃなくてよかったですなどといいました。自分も14年間生きついて、ハンセン病についても何の知識もなかったし、まだまだ知らないことがありますたくさんありますと思いました。今日帰つたり、この講演会につづく家族に話してみたいと思ひます。

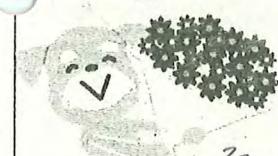


# ハンセン病講演会を終えて

今日は、ハンセン病について、初めて話を聞きました。  
すごい差別や偏見があり想像がつかない所が  
ありましたか、すごく興味があると話していました。  
病気による差別の問題は、本当につらいものだと思います  
いつも心からました。

ハンセン病については全く知りません。僕は、名前も聞いた  
ことのないような病気です。たけど、今は、ハンセン病について、  
調べました。とても元気になりました。

僕は講演会の時は、大体寝ていました  
のですが、今日はめがれ、終始起きられました。  
なんかいい興味深かったです。



# ハンセン病講演会を終えて

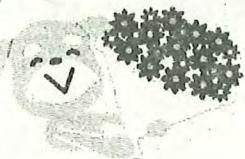
ハンセン病について聞いたことはあるけれどあまり知らないから、感染してしまった。一生家に帰ることも家族に会うことまで生がりと生きて、死んでしまった。

それでも中絶されないといつてもゆう事実あって、未来があったのにこの未来がなくてはとうとう死んでしまうことを教えたし、とてもつらくなりました。

今も新型コロナウイルスで差別などもされていることもあるので、今日のハンセン病講演会で、人を差別するようなことはせうたまにはいひようにはうと思ひました。

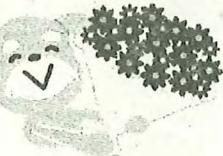
また、あまり知らなかったハンセン病について、よく知ることで生き抜かれたなど思ひました。長時間差別に苦しんでいる人もいたことなどを聞きました。

じっさいに体験した人の話を聞いて、その人がどんな感じでおられたのかをつかう教えられました。



# ハンセン病講演会を終えて

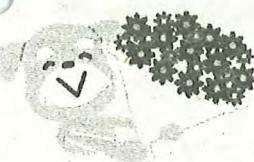
ハンセン病というのと元々知りなって今回講演会を開いたり、  
たくさん学ぶことがありました。今、SDGsで「平等」、「差別問題」や  
「人権」についてなど、絵本ながら聞くことをやりました。  
ヨロイ屋さん「うのすあり可い」「身近に感じ」で真理子ちゃんのお話  
だったりのの子さんのお話を可いところまでやりました。  
今回学んだことなどを、いかがるようにならべた $11^{\circ}$ でアートたり  
資料を読み返したりしたと思ひます。  
本日はお急ぎのなか、ハンセン病の講演会を開いてください  
ありがとうございました。家に帰りました $11^{\circ}$ アート  
で見せながら親にお話をされたことを伝えたいです。



# ハンセン病講演会を終えて

私はこの講演会をきいて 黒髪小学校の話が/香川に残りました。

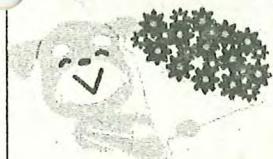
子供達自らはハンセン病のかんじでではなくのに入学をさせられて  
かわいそうだと感づいた。ハンセン病の人気が嫌な思いをするのは  
だめだと想うし、その家族が不当になるのもいけないことに  
考えられました。近くの小学校も第三者の目線のときは黒髪  
小学校に否定的な考えたのに、自分の小学校には  
いれたくなのは矛盾しているし、正直に知りたい感情に  
負けてしまっていたのかよくわからました。ハンセン病は  
治る病気だとわかるので、病気じゃない人と  
平等にするべきだと改めて考えられました。



# ハンセン病講演会を終えて

## 命の危険

ハンセン病が△でなく、人権や差別を生んでしまって  
過去を通して、今、コロナでの医療関係者さんへの差別、または  
家族への差別が起つてることを見逃がす。誰かがさしつけて  
くれると、気持ちではなく、自分から差別をなくしていけるよう  
行動を△と思いまし。また、コロナたりでなく、いいめな△  
様な場面で意識するべきだと考えました。そして、一人ひとりが  
ハンセン病を知り、今も△で△の差別を減らせよように私も今日の  
事を親に伝えるなどして、少しでも差別を減らせればいいなと思  
いました。



# ハンセン病講演会を終えて

初めてハンセン病のことを何も知らなかったけど、今回の講演会でどんな病気なのか、かかってしまった人がどのような差別を受けてきたのかを知り、人権について自分自身について考えなおすことができました。

ハンセン病の差別がかかってしまった人だけではなく家族やかかってしまった人の赤ちゃんにまでされていた。それが日本で行われていたということを自分が今まで知らなかったことが一番のおどろきでした。今の私がハンセン病の差別について出来るることは少ないと思ってけど、今問題になっている他のことでの差別、いじめは自分がしないようにしている人を止められるようになりしようと改めて思いました。今の時期にこのようなことを知れてよかったです。本日はありがとうございました。



# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病講演会 ありがとうございました。私は  
ハンセン病については、名前は知っていますが、  
具体的にどのようすの病気かはよく知りません。  
これを勉強にはしました。私は、桙井さんの話や、  
真理子ちゃんや真佐子さん、手術についての話を  
聞きました時に、「誰のせいで真理子ちゃんが死んで  
しまったんだ？」などと考えました。病気になってしまった  
差別されてしまう。こんな世の中が昔の日本にあつたと思う  
ことを恐しく思います。適切な処置を受けられ  
なかつた昔と比べると、新型コロナウイルスも似ています  
が、ある意味では丁寧だと感じます。今日は、ありがとうございました。

# ハンセン病講演会を終えて

私は今まで、ハンセン病については名前しか知りませんでしたが、今日のハンセン病講演会を通してどのような病気なのか、感染した人たちがどうのようであつかいを受けていたかについて知ることができました。また、差別のひとさや怖さについてもあつたため理解できました。もしかしたら私は自分がぬうちに差別をしてしまっていることがあるかもしれませんので、差別をしないように気をつけながら生きていくみたいと思いました。

今日はハンセン病講演会を開いていたときもありがとうございました。

## ハンセン病講演会を終えて

私は、ハンセン病の事を全く知りませんでした。  
「みんなも注意しよう!」みたいな感じの講演などの  
かなあと思つたけれど、日本の歴史に名を残す  
くらい重要な病気だったということ。とてもおどろき  
ました。やはり、偏見や差別は人を苦しめてしまう  
ということを改めて実感しました。真理子さんのように  
命をもらつても生きられないというとても悲さんな  
ことがあるのです。今、自分が生きられていること  
に感謝をして大切にしたいと思います。  
今日は、ありがとうございました。



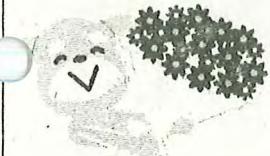
# ハンセン病講演会を終えて

以前は名前だけ知っている状況だったけれど、今回の講演を通して、とても深刻な問題だったのだなと感じた。このような差別をなくすには、自分をはじめみんなが思いやりの気持ちや相手のことをおもうことがとても大切だと思った。また、このような差別は、「ハンセン病だけじゃなく身近にそこにあると思うので、自分が、そのような人を助けてやるようになりたい」と思った。そして差別や偏見のなくなるような社会になると感じました。この今回の講演会でハンセン病のかんじやのくろしみや差別や偏見について学べたのでよかったです。



# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病講演会を終えて、半世紀以上にわたり罪のない人々を療養所に集め、強制隔離したことを知り、本当にひどい事と思いました。私は、ハトセレ病についての知識が少なくて、ひどいことをされていたくらいの印象しかもっていませんでした。しかし、今日の講演を聞き、予想よりずっとひどい問題だったと知りとてもおどろきました。私が特におどろいたのは、群馬県の重監房のお話です。何も悪いことはしていないのに、90人以上の人が自殺や自殺未遂で23人の方が亡くなつた、という話を聞き、とても悲しく、そして怖くなりました。どうしてこんなことになってしまったんだろ、と思いました。他にもたくさんの重要なお話を聞き、決して忘れてはいけないことを感じました。今日の講演会のお話は、ずっと覚えていきます。



# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病を治療するはるの療養所かい刑務所のように  
そこになつては、いたのが非常に殘念。患者が治療するた  
めの道具自分で洗つたりしたのかとても大変うつたと感じた。  
結婚しても子どもを産むことかれ許されておらず、断種、中絶  
手術を行つていたのはとても悲しい。今はネットなどで  
すぐに情報を手に入れることがで生き残つた情報が  
正しい情報なのか見極めることか大切だと思つた。  
日本ではスニカウムにかかることで差別や偏見を受けている人  
がいるので、見かけたら注意するとして、  
ハンセン病のようなことを差別的に起さず  
ようにしたい。知らないで怖いなと思った。

# ハンセン病講演会を終えて

私は“ハンセン病”というものを今まで知りませんでした。だから、歴史が長く、今でも世界に20万人もいるのは信じられませんでした。今日聞いた話はどれも私には刺激の強いもので資料冊子等、内容も頭に入りました。特に断種手術や中絶手術は聞きながらすごく辛い話を悲しくなりました。昔のことだけれど、人ごとに思えないし、思ってはいけないと強く感じました。また、重監房の話も印象的でした。資料には、“ご飯はお握りと梅干一つずつ”と書いてあり、そんな中でも私はどうにかやってしまうのに、零下16度にもなる室内にうかれたりしたというのを想像して絶する辛さなのでしょう。私はハンセン病の辛さなどを忘れず、家族に伝えなければと思ひました。

# ハンセン病講演会を終えて

自分自身ハンセン病という言葉も聞いたことがなく全く分からず、身で感じた。こんな中で、このような講演があり、ハンセン病についての知識が得たり、差別問題についての理解が深まりました。手元に資料が配られ、リモートで話してもう少し自分で自分のやめたことを振り返りました。日本にもこんなに深刻な差別問題があるなんて驚きました。病気で苦しみ、病院には入るのに、そこでは虐待をされ、子ども産むのは禁止など、ひと度も恩恵してもらわなかった。日本でも、差別やいじめで自ら命を落としてしまうような事件をよくニュースなどで見ます。ハンセン病に関する限り、他の病気でも差別は良くないと思います。今自分が考えたSDGsにも反映させたいとも思え、普通に考えておりえます。この講演をきっかけで、改めて考え方を、自分の「何をしてるかなど」を深く考えてみたいと思います。

# ハンセン病講演会を終えて

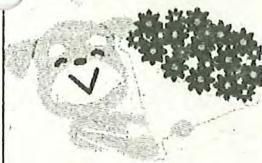
自分はハンセン病とは何か知りませんでしたが今回の講演会でハンセン病が何ぞ影響が多くの人達いたことが分かりました。特に人権や差別では今新型コロナウイルスがおりて感染者に対して暴言や罵詈などいじめをしているのがハンセン病といひいると思いまして。昔今は昔にくらべたら感染者に対する対応いかでいい落着いたけれど者に対するが相手にもより柔軟的でどうました。途中ではハンセン病が伝染病ではなく原生病だと分かりながらも初めにはすり離れておらず、とてもかわいかったです。今回の講演会では、ハンセン病で人権をテーマに学びましたが最後の質問で次の回答のその人の可能性がなくないといふ言葉が今でも心に残っています。今日お忙しい中おかけさまでした。

# ハンセン病講演会を終えて

今日は、ハンセン病について知ることができて、とてもよかったです。私はまだ知らないことがたくさんありました。特に、「ハンセン病に関する問題」は昔にあったことだと思っていたので、平成の時代になるまで法津が改められていくか、たことに驚きました。また、ほかに印象に残ったことは、昔のハンセン病の療養所では「病気を治すための場所」ではなく「ここで死んでもらうための場所だった」という言葉です。ハンセン病の治療法がわからずいうちに、行政が国民への伝統方を誤っては、たことをきっかけに「病気を治す」という療養所の目的も変わってしまったことが、病気の何倍も恐ろしいと思いました。また、「差別は自分のことには、たときに姿を現す」などの言葉からも、自分について、差別していることがあるのではないかと、考えることができました。今日は、お話を聞くことができて、とても良い経験になりました。

# ハンセン病講演会を終えて

今日、この講演会を聞くまで私はハンセン病がどういった病気か知りませんでした。講演会を開くほどだから、きっと病気のしようじようがひといんだろかあと思っていましたが、今日のお話を聞いてそれよりもひとひどいことが問題になっていたことが分かりました。病気がうつりやすい訳でもないのに強制隔離にかけられたり、家族と同じ墓に入れなかったり、中絶しきはいけなかったり、今では考えられないことばかり思いました。でもそんなことを言えるようが今の社会にするために頑張ってくれた人達に感謝して私たちは同じおまちをくりかえさないよう生きていかなければと思いました。



# ハンセン病講演会を終えて

今日は、私達のためにわざわざ・ハンセン病講演会をしてください。  
誠にありがとうございました。私は、今日の講演会で、ハンセン  
病は感染力が弱く、隔離の必要はないのに、昔の患者さんは  
差別を受け、その人の人生の可能性、また夢など全てを  
失われてしまっていたことを学びました。これは、あてはならない  
ことであり、このようなことは二度としてはいけないと思いました。  
私は、とても幸せな時代に生まれました。でも、それは当然以前  
ではないと改めて深く感じることができました。私は、この  
「ハンセン病」を後世へと受け継いでいくために  
さらに理解を深めて、それを行動力に生かして、  
一人でも多くの命を救いたいと思いました。

# ハンセン病講演会を終えて

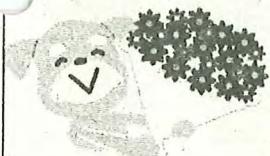
今回のハンセン病講演会を開いて、私はとてもびっくりしました。

そもそもハンセン病といつものがどんな病なのかまったく知らなかたし日本で隔離されていたという事も知りませんでした。隔離され、迫害されながら過ごし、有効な薬がない中で日々を過ごすのはどれほどつらいことなんだろと思いました。隔離するということは、その人の人権をふみにじり、自由を奪い、未来を奪うことだと思ってます。

今はコロナなどがはやり、未知の感染症で怖いことたくさんあります

けど、ハンセン病の講演会を開いて自分でしかり考えて行動する必要

があるなと思いました。



# ハンセン病講演会を終えて

今、新型コロナウイルスが流行っている中で同じめやまちをくり返してはいけない事がこれから社会において一番大切な事だと分かりました。真理子ちゃんの事は、とてもうらやましい出来事だなと心から感じました。大切な1人の命、人生がうばう奪利のない人の差別で簡単に奪われてしまうと思うととても怖いものだと感じました。そのためにも正しい知識を理解しての上正しい行動をする。正しい行動が難しかったとしても、今の私達には正しい知識を知る事はできます。本当にこれからはネット上のウエブにまぎれ掉れずに、真実を大事にしていくと思います。感染症はその症状のつらさ以外にも、差別やうわさのつらさもあり改めて感染症の恐れを学ぶことができました。今回来て下さった方々のうちに、「人権は大切だ」と言い続ければする方に感謝申し、これから自分の行動をヨリ引きしめて、学校生活を送っていきたいと思いました。

# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病以外でも起つたりする人権の問題についても、よく知るきっかけました。

今まで言えは「新」がたコロナウイルスのように毎回感染症など病気がはやさに飛びに、差別が起つてはならないことを知りました。

今では色々な技術とかは進歩しているものの、人が考え方とか行動はたしかに昔と変わったことは残念だな。  
と思いました。



今はあまりニュースとかでやっているコロナとかの差別も、身近はとにかく沢山あるとと思うので、周りが変わるためにも、自分の考え方を改めようと思えました。

# ハンセン病講演会を終えて

本日はお忙しい中、講演会を開いて「ヨリありカ」と  
ございました。私たちの祖父母もまた産まれてから  
もう何時代にハンセン病を患って奪われた自由や命が  
何人かと初めて知るようになりました。私は女性  
は女性が身もとに尊い命を守るためにやられたお話を一番  
胸に痛みました。産まれる前から、新たに命がタダに  
生まれて死んでしまう人の立場が母親の立場では正気で  
あるほうと思ひます。この父親の立場では、税金の話ではなく、人の  
真理をつかむ絶えざる力は人間と聞く。これからハンセン病の  
程苦痛を感じ人間を思ひます。これからハンセン病の  
解明機会があるなら、より深く考文化をより広げたい。

# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病は単に争と向むくといふ風化させてしまつた過去であると矢張りおしひ。

今はハンセン病の薬をしっかりと飲めば治る病気ですが、ハンセン病にかかってすぐにはなかつ時代はとても怖い病気だと思われて、その怖さを無視めに差別や偏見をしていました。しかし黒い髪の病気の人に対して差別や偏見をする時代は今はいつでない。自分も新型コロナウルス感染症になられて偏見を持っている部分があるのです。これからはこの偏見をなくし、正しい知識を持つべきだと思います。

もし自分がハンセン病の人と会ったとしても、差別や偏見をせず、いつもとしておけばようと思ひます。



# ハンセン病講演会を終えて



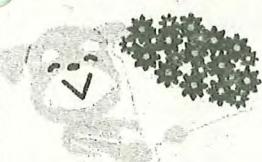
本日は、大変お忙しい中、ハンセン病とそれに關する人権についての講演会を行なっていただき、ありがとうございました。明治時代や大正時代に差別があったのは少しだけはいたけれど、平成8年まで法律が存在していなかった差別があつたところは、矢張りさせられた單なる日本の日本国憲法で人権が保護されていたと思つていただければ、憲法に反して行われていたところと、国の最大のあやまつといつてもいいのではと思いました。ハンセン病は、国が科学的根拠なしに、間違った方針を打ち出し、国民の差別をものすごく加速させているのは、日本しくないと感じました。今感染が拡大している新型コロナウイルスは、国が差別・偏見を防止する取り組みを打ち出していくには、変わっているので、国民が変わることで、しっかりと差別をなくすべきと思いました。



# ハンセン病講演会を終えて

本日は大変おいひい中講演会を開いたのでありがとうございます。

人権問題について自分のことにならない疲れさせてることは、すごく他人まかせてると思いました。黒かけ小学校の問題のことと近くの小学校のこととは、他人事ではないと思いました。ハンセン病だけではなく自権問題は色々なことに関わっていると思います。二のような問題は一トトが自分事と考へていいなどなくならないだと思いました。現在はコロナウイルスに詳しいけれども、それでも何でいると思いました。感染したくて、感染してないけどいいのに、差別やいいめ玉をすることが許せないと思いました。コロナウイルスは、1人1人がいいみなどしない、ような空気作ぐのが大切だと思いました。この講演を通して、自権の大切さ、いいめ、差別のひとつを理解できました。本当にありがとうございました。



# ハンセン病講演会を終えて

本日は大変お忙しい中このような講演会を実施いただき、ありがとうございました。

今回の講演会の内容の中でも印象に強く残ったものは「真理子さん」でした。本当に助けてくれる大切な命があのうな形、方法で無くなってしまったということにとてもつらくなりました。また、その胎子をホルマニシットについていたという事実に一番ショックや怖さを感じました。同じ人間のしかも6ヶ月という小さすぎる命がそのうな事での経験をしてしまったのが辛いに行せん。

私もこのうなつらい過去を次の世代へと受けついでめに替わらたいと思います。

本日はたいへんありがとうございました。

# ハンセン病講演会を終えて

本日は、たいへんお忙しい中、このように講演をしてくださりありがとうございました。私も「ハンセン病」と聞いても、何かこう言はずのといふトーンでいました。自身「ハンセン病」と聞いても、何かこう言はずのといふトーンでいました。されど、今日、講演を聞いたことで、どうなすことかがわかつて、なんか、いつから、いつまでおこなわれていたのか。どんな人が差別を受けたのかなど、色々なことがわかりました。特に、「らい予防法」という、差別を目的とする法律なものがあったこと、国が差別や、ひどい労働などさせると、廃止されるまで誰もおかしいと思はずの点などがとても考え方深かったです。ハンセン病に対する問題や、裁判などは、平成になってから、令和になってから続いたことがわかれ、「昔の悲しい事件」ではなく、「今もつづく伝えていくべき問題」だという考えに変わり、これから、自分で調べたりしてみたいと思いました。

# ハンセン病講演会を終えて

本日は大変お急ぎ中、このうなすばらしい講演ありかとうございました。僕はハンセン病のことを直ぐ今までしりませんでした。僕は今日のこの授業がなかたら、このまわることができませんでした。

今後、ハンセン病についてさらに勉強して、ハンセン病について、あまりいけない人や、正しくないことを言っている人に直すまで教えてあげようと思ひ、そのために今日教わったことをこれから以後の生活に生かしていくと思ひます。

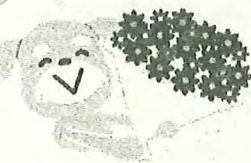
今回はこのようなばらしい機会をいたさぬありがとうございました。



# ハンセン病講演会を終えて

本日は、大変お忙しい中、このようなハンセン病講演会を開いてください。  
ありがとうございました。

ハンセン病などは、治すまでも大変で、それが治ってからもへんけんやいいめ  
差別がたえずあります。よくわざりました。また、そのいいめや差別。ハンセン病などは  
常にへんけんが時間がたつているにもかかわらずまだ残る。へる  
ことに気がつきました。また、今新型コロナウイルスがはやっているので  
身近な事において、ハンセン病について考えることができました。  
また、何人がでますか?とか子どもを産めないなどなどを調べて知ること  
ができました。自分は、いいめや差別へんけんを持たない  
ようにして今後はいいめや差別、へんけんを世界から減らしていく  
たいです。



# ハンセン病講演会を終えて

今日は大変忙しい中私たちは講演会で  
いくだけありがりごきり。ハンセン病というの  
は名前だけきたがらぬので今日いうもの  
の多くわたくし知らなかったので、かた者  
に対する差別などあるのではなくてもさうして  
心が苦しかったので、今回学んだことは正しい知識  
を得ることの大切さであることをしなければ者のみなら  
非げなくて、かえざるところであるのでそれをするために  
正しい知識を得てから発言・行動してい  
ます。今回のことは今現在の状況にも似たり  
ので誰かか苦しみ、誰か苦しめることがないのに何が?



# ハンセン病講演会を終えて

本日は大変まいえがしい中二のような大変おばらいいご公演をじっくりと聴きまことにありありがとうございました。

ハンセン病のことで偏見や差別で想像を絶するようなひどい思いをしていた昔の患者さんたちのことについてひどく心がいたみました。また人権のくんちはうがながたがうるさくいう事が老々おじいちゃんの事も学べました。

くり返しになりますが本日はまいえがい、中二のぐ公演をじっくりと聴きまことにありがとうございました。



# ハンセン病講演会を終えて

本日はたくさんありがとうございました。この講演会がはじめて  
でした。本当にありがとうございました。

私はハンセン病について、今までほとんど知らなかったので  
ですが、今回の講演でハンセン病によるおそれられ・差別がへん  
りんを知って、ここに差別は身近にせまると自分も同じことを  
する。ということは、ハンセン病についての問題も自分のそばの人  
の学校生活にもつながるところがたくさんあったように感じ  
ました。私も差別などについて、他人車で可不可以自分車  
についてこれから考えていくことを思いました。ありがとうございます。  
差別や身近なことはいつも考え直せよう!と講演  
を終えてになりました。

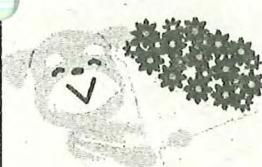
# ハンセン病講演会を終えて

今日はコロナ禍の中、大変おつかしい中、このようなすばらしいご講演を聞いていた  
ま、まさにあり難うござります。

黒髪小学校事件については、身近に感じました。自分のことは、たれまへ述べよとするのは  
よくあります。今でもハンセン病による差別が続いていると人間、恐怖など  
と思いました。家族や友達と会えなくなり、もうこれで悲しいです。昔はこのような思い  
をする人がたくさんいたのは、とても、じがいたます。このことは、今この学校でも活動が進  
んでいます。SDGsの開拓りが深く感じられました。このような体験を通じて、開拓して  
深めさせて貰います。ありがとうございました。今日はありがとうございました。

また。

message for



# ハンセン病講演会を終えて

ハンセン病に感染しただけで差別を受けたり、家族にも被害を与えるのは悪いことだと思った。相井さんの話にあつた、ハンセン病に感染しているといっただけで中絶や断種された人達も可哀想だし、せいかく生まれてきてくれた子を殺したりするのは薄く悲しいことだと思つたし、小学校に入学するのを断られたり、感染しただけで本人や家族は何も悪くないのに、まるで患者扱いされるのはひどいと思つた。これから差別を無くしていくために、「治る病気」や「本人は悪くない」ということをみんなに知つてもらつて、感染者もそうでない人も差を無くせる環境が大切だと思いました。今日はご講演ありがとうございました。

# ハンセン病講演会を終えて

今回このハンセン病講演会をうけて、とても心が痛みました。病気にかかってしまっただけなのに見た目などだけで、いきなりと調査せずに病人を差別し、家族とも別かれてしまう。医療所でもほとんど人権がないと、うつもつら、状況はったと分かりました。また子どもとさすがに中絶をしてしまって自分の子どもが生きれないと考えるととても苦しいと思します。現在新型コロナウイルスが流行しております。このことでも差別があったことが挙げられます。これからはこのハンセン病の時のように差別がおさまらないように、ほしいです。そのためには学校生活から人を差別するおなごとをやめたり、したりして、ようなく生活をしていかなければと思します。



# ハンセン病講演会を終えて

1回のハンセン病講演会行つてもうたおかけて、ハンセン病といふ単語  
しかわからなかつたのが、断絶、中絶、黒かみ小学校のことなどと  
知ることができてきました。ハンセン病は前から言われついた、かかつてしまつた  
沿岸の「病氣」などといふのを身にしたことが「ある人ですか」、今日  
算でハンセン病が「沿岸たりする」とか「できかかつす」に病院に  
いって対処してもうえは「入院しなくてもすむこと、どんな状況や  
場所でかかるつまらかなど」が尋ねることができました。また過去にハンセン  
病にかかるつしまつた人か「どうれた」か「うつ病」、思ひをしてきたか、どうせ  
苦痛を味わつてたかと思うと、へわいをうです。今では  
コロナにかかる人が「みんなからさけられると」いうのは

昔にハンセン病にかかる人が「さけられることと同じ」が、  
そういう差別をなくしていきたい。

# ハンセン病講演会を終えて

今回、ハンセン病講演会をモード、本当は村田でこの話をチヂたかったです。でもハセー子と大東の事をハッいて心磐をました、僕が中絶の人たたち、かなにまでもうたちなおれません、1つの命をうばうことなどハンセン病へあせりつたにんじのせいでおおくの人がぞせりへる、たことをされません、もうコラハラことは金縛りじゃいけない、せせてもハケません、このこうえんかんをやって良がったとあらためて思いました、今日はおどせしめがこうえんかんをひらくへてくたそつありからうございました。

# ハンセン病講演会を終えて

今日はがんばれ中、貴重な講演をしていただき、ありがとうございました。

私は今まで「ハンセン病」いう病気すら知らずに生活してきていたが、  
今日1日でハンセン病への理解が深かったと思します。ハンセン病によ  
て差別を受けたり、家族を亡くしたりするだけではなくて、  
人権も守られなくてはいけない通り、あってはいけない事だ。  
強く実感した。そして今私たちの身の回りにも新型コロ  
ナヘルスという感染症が流行っているので、今回学んだ差別  
についてもう一度身近だと感じた。私たちが学んでいた  
SDGsでも関連していく内宿だ。これでなくても勉強に  
なりました。今日は、本当にありがとうございました。

これからも、がんばってください。

# ハンセン病講演会を終えて

今までハンセン病といふものができるには症状が出るのと、からてほりどう  
なるのか全く知らなかつたが今回講演会を終えてハンセン病の怖いところは  
症状ではなく差別や隔離といふことが分かりました。感染してしまつたら  
自分だけではなく家族や周りの人にも影響を及ぼしてしまい、周りの人も  
偏見でほうことではなく怖く恐ろしいほど思いました。性別年齢年齢の言葉は  
理不尽でつらいほど思いました。強制隔離は親中友達から引き  
離されてしまい、厳しい門に入られ、本当にそんなんあるのか、たのむか  
と言ふことをせんでした。本当にそんなども親と一緒に墓に入れり  
療養所の墓に入れられるのは辛いし、最後の最後まで  
差別されつづけるのは悲しいことだと分かりました。今日は  
私たちのために来て下さり有難うございました。

# ハンセン病講演会を終えて

今回、ハンセン病講演会を終えて、その人が病気にかかって「そう」と思って、差別がおこってしょうということは、とてもダメだと思ひました。ハンセン病というものは、私は、全然聞いたことがなく、最初は、よくかかってたけど、今回、ハンセン病にかかって、聞いて、色々とこうやうものだと、いうことも、全く知らなかったと思ひます。この講演会をしていたにいたおかげで、今までに、11月18日苦しんできた人たちや、起きた事件。昔は、本当にたくさんの人々が苦しんできていた、たとえいうことが分かりました。今も、コロナウイルスにかかるとなってしまった人が、差別されてしまうことがあります。私は、さっきの話を聞いて、誰も傷つかずにはすれど、にじたと思ひました。この聞いた話は、ずっとわすれずに、心の中に残せると思ひました。



# ハンセン病講演会を終えて

今日はお忙しい中、ぼくたちのために講演をしていただきありがとうございました。

お話を聞く中で特に療養所での患者さんのお話や職員たちからの  
厳しい生活の規制やパンケートについてある算用の重監房の写真を見ても心が痛くなりました。ハンセン病はもともと治るはずの  
病気なのに国々誤った偏見によって国民の間違った知識によっ  
て差別が生まれ、その結果、ハンセン病患者が受けた  
被害は想像できません。今も、ハンセン病患者だった人々が  
差別や偏見による苦い思いを思うと、やはりぼくたちだけで  
のままの差別をなくす必要があると思いました。  
ぼくはこれから差別をなくすために今まで以上に  
はじめを見逃さないようになり、はじめ防止の声かけを  
します。

# ハンセン病講演会を終えて

3



この度は、大変お忙しい中、ご講演にて下さり、本当にありがとうございました。

私はお恥かしながら、ハンセン病そのものについて全くの知識をもっておりませんでした。

ですが、この講演をきいて、ハンセン病について、くわしく知ることができました。

中でも、療養所のお話がとても心に残りました。せっかく結婚はできても、子供を産むことができない。産まないようゆでざわせ手術をしなければならないなど、もしこのことがなければ新しい未来をかえるキッかけにもなったのかなと思っています。

また、その家族も辛い思いをしていればならないのだ"と思うと、とても心が痛みました。ちがった情報を、なんの知識もなしで流してしまうのは、改めておぞろしいものだと感じました。今現在も差別が少し続いているのですが、この講演会を聞くことで、考え方を変わっていくんじゃないかなあと思っています。今日は本当にありがとうございました。



# ハンセン病講演会を終えて

今回のハンセン病講演会を聞いて、差別や偏見がこんなに  
たくさんの人々を巻きこんで、ほんたうと思った。療養所で服も  
お金もなく大切な人と違うところに住まなければいけない、  
結婚や中絶についての話もつらく、男性・女性どちらも  
つらい思いをしたんだなと感じた。後半のモリコさんの話も、  
グラス鏡が静まって聞こえてよく印象に残った。七八年  
3時も家に帰れずに療養所の中で火葬することを知って  
しうげきた。この病気は正しい知識をもつたければ  
國民にも伝えいくことが大切だと思う。ハンセン  
病をかかってりいやがたりするとは少し違うと  
思った。改めてこの講演会を開いてモリコさんには